



医療法人 湘南鎌倉総合病院
 沖縄徳洲会



〒247-8533
 神奈川県鎌倉市岡本1370-1
 Tel : 0467-46-1717(代表)
 Fax : 0467-45-0190
 ホームページアドレス: <http://www.shonankamakura.or.jp>

ご来院される方にシャトルバスの運行も行っております。詳しくは院内で配布のシャトルバス時刻表が、ホームページをご覧ください。
 また、「しょうなんメール」のバックナンバーもホームページでご覧いただけます。

湘南鎌倉総合病院

公共交通機関でお越しの方へ

下記は運賃がかかります。ご了承ください。

大船駅より来院される方

- 大船駅西口（大船観音側）
 - 1番乗場 神・船32 渡内経由
 公会堂前下車 「藤沢駅北口」行
 - 神・船101・102 公会堂前経由
 「城廻中村」行
 - 2番乗場 神・船34 「南岡本」行
 南岡本下車
- 大船駅東口交通広場ターミナル（湘南モノレール駅下バスターミナル）
 - 2番乗場 江・藤沢[弥]大船
 南岡本下車 武田薬品前～弥勒寺経由
 「藤沢駅」行
 - 江・南岡本経由 「四季の杜」行

藤沢駅より来院される方

- 藤沢駅北口（さいか屋・ビックカメラ側）
 - 4番乗場 神・船32 柄沢橋・渡内経由
 公会堂前下車 「大船駅西口」行
 - 9番乗場 江・藤沢[弥]大船
 南岡本下車 弥勒寺～武田薬品前経由
 「大船駅」行
- 藤沢駅南口（小田急デパート側）
 - 8番乗場 江・5301 アズビル前～
 湘南鎌倉総合病院下車 武田薬品前経由
 「湘南鎌倉総合病院」行



駐車場利用について

湘南鎌倉総合病院駐車場

	患者	一般・面会
料金体系	最初 2時間 200円 以降 1時間 100円	1時間 200円

※外来患者さんは診察券が無いと一般料金となります

現在、病院設備工事のため、駐車場の一部が使用できません。ご利用の皆様にはご不便をおかけいたしまして、申し訳ございません。ご理解とご協力をお願いいたします。

コーナン鎌倉モール
 1時間 200円 当日最大1000円 お買い上げで180分無料

湘南鎌倉総合病院広報誌

Vol. 92

2014年
11月号

医療法人 沖縄徳洲会 湘南鎌倉総合病院

発行/湘南鎌倉総合病院

〒247-8533 神奈川県鎌倉市岡本1370-1

Shonankamakura General Hospital

しょうなんメール



Contents

2 P<医療の話>

・糖尿病とは

4 P<研修管理委員会・救命救急センターより>

・湘南鎌倉総合病院で勤務する医師と
病院機能評価

6 P<地域総合医療センターより>

・地域総合医療センターについて

7 P<トピックス>

・湘南鎌倉 糖尿病週間フェスティバル開催!
・赤ちゃん集会 クリスマス会開催します
・11月より院外処方せん発行へ切り替わります

8 P<病院案内>

ご自由にお持ちください
TAKE FREE

理念

「生命を安心して預けられる病院」
「健康と生活を守る病院」

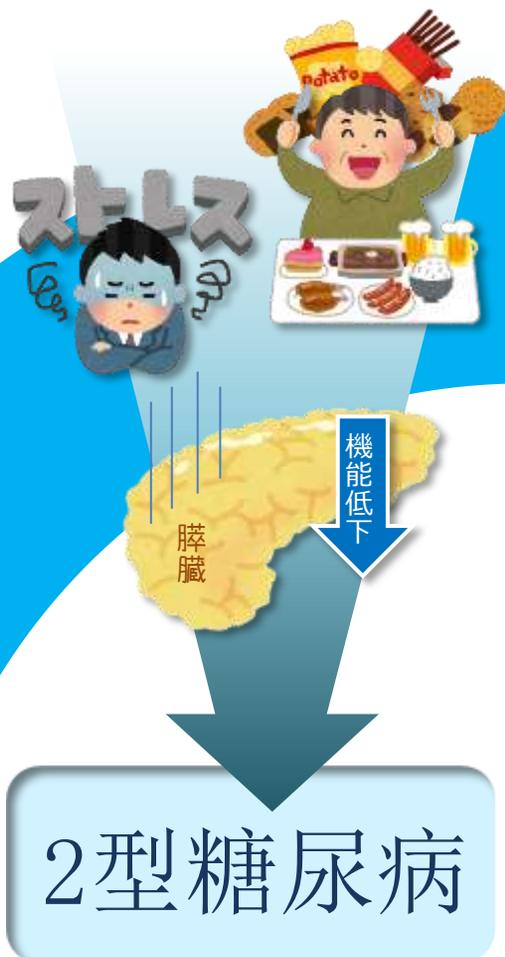
糖尿病とは

糖尿病内分泌内科 小見 理恵子

糖尿病とは、「インスリン作用不足による慢性の高血糖状態」をいいます。インスリンは膵臓のβ細胞から生成分泌される、血糖を下げる作用のホルモンですが、その働きが悪くなることで、血糖値が上昇し、糖尿病が発症します。

いわゆる生活習慣病の一つである2型糖尿病では、インスリン分泌低下やインスリン抵抗性をきたす素因を含む複数の遺伝因子に、過食、運動不足、肥満、ストレスなどの環境因子および加齢が加わり発症します。

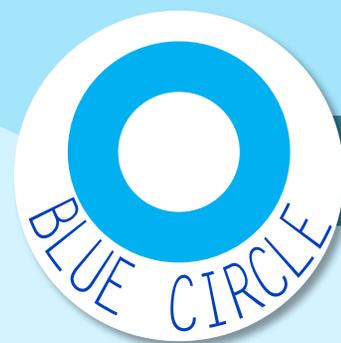
糖尿病の初期は、自覚症状が現れにくく、採血をして初めて糖尿病と診断されます。しかし、自覚症状がないからといって治療せずにいると、高血糖による血管合併症が引き起こされます。そのため、糖尿病を治療する目的は、血糖値を下げるだけでなく、高血糖が引き起こすいろいろな合併症の予防や悪化を阻止することを目標にしています。糖尿病特有の合併症としての三大合併症は、神経障害、網膜症、腎症をいいます。また、高血糖では、足壊疽や脳梗塞、狭心症などの虚血性心疾患の発症率も上がってしまいます。



11月14日は 世界糖尿病デーです

増加の一途を辿る糖尿病

糖尿病は世界の成人人口の約8%（3億6600万人）が抱えており、2030年には10%（5億5000万人）に達すると予想されています。また糖尿病が原因で死亡した人は、2013年は510万人にもものぼりました。6秒に1人が糖尿病のため亡くなっている計算になります。国別で見ますと、日本においては成人糖尿病人口が世界第10位となっています。そして40歳以上の3人に1人が糖尿病または糖尿病予備軍であることが分かっています。



1型糖尿病

生活習慣で起こるものとは異なり、膵臓のβ細胞が破壊されて、インスリンが足りなくなって起こるもの。子供の頃から始まることが多い。

2型糖尿病

インスリンの量が少なくなって起こるものと、インスリンの働きが悪い為に起こるものが多い。食事や運動などの生活習慣が関係していることが多い。

その他に遺伝子の異常や、他の病気が原因で起こるもの、妊娠中に見つかる妊娠糖尿病などもある。

糖尿病の歴史

糖尿病は今や現代病とも言えるわけですが、その歴史は古く、紀元前1500年ごろのエジプトのパピルスに、糖尿病に関連する症状の記載があります。また2世紀ごろ、トルコの医師アレテウスは糖尿病について、「不思議な病気で、肉や手足が尿のなかに溶け出してしまふ。経過はどの患者も同じ、腎臓と膀胱が侵される。患者は水を作ることを少しの間もやめず、水道の口から流れ出るとく、絶間ない。病気は慢性で一定の形をとるまでに長い時間がかかる・・・」と記載しています。また日本においては、982年に書かれた日本最古の医学書に、糖尿病を指す記載があります。そしてこの頃栄華を極めていた藤原道長は、我が国最初の糖尿病患者として知られています。

当時は病気の原因や治療法が分かりませんので、ただただ病気が進行していったと考えられますが、現在は、多くの糖尿病に関する研究の結果、詳しいことが分かっており、決して恐ろしい病気ではありません。

世界糖尿病デーとは

このような状況を踏まえ、国連は「糖尿病の全世界的脅威を認知する決議」を2006年に国連総会議で採択し、11月14日を「世界糖尿病デー」に指定しました。以降毎年11月14日は世界各地で糖尿病の予防、治療、療養を喚起する啓発運動が行われています。当院では、今年も引き続き長谷寺の境内にてイベントを行います。

11月16日（日）の日中に、血糖測定や健康相談、「湘南愛情弁当（カロリー制限食）」の販売などを行います。15日（土）夜には、長谷寺と鎌倉大仏、大船観音がブルーにライトアップされます。このイベントが糖尿病を知っていただく機会になればと思います。

ブルーサークルは
世界糖尿病デーの
シンボルです



湘南鎌倉総合病院で勤務する医師と病院機能評価



前々回のしょうなんメールvol.90 2014年9月号では救急患者の転帰と救急入院患者の在院日数についてご紹介しました。今回は2010年9月1日の新築移転から4周年を迎えた湘南鎌倉総合病院で勤務する医師と病院機能評価について、医療機能評価機構および、専門医機構の評価調査者でもある救命救急センター顧問の福田充宏医師と、当院研修管理委員会委員長の渡部和巨医師のコメントを踏まえてご紹介をさせていただきます。

1 当院で勤務する医師について



当院には平成26年10月1日現在常勤医師が219名います。この中には初期臨床研修医、後期研修医、専門医（指導医）などが含まれています。

医師は大学医学部を卒業後、医師免許を取得します。そして、初期臨床研修医として卒後2年間、基本的な医師としての手技や知識を身につけ腕を磨く研修を受けます。当院は、これらの初期臨床研修医を受け入れ研修の場を提供する臨床研修指定病院に指定されており、毎年多くの初期臨床研修医を受け入れています。ちなみに平成25年度および26年度は、それぞれ18名、16名を受け入れました。来年度は受け入れ可能な人数が24名と増加し、小児科、産婦人科の専攻をめざした初期臨床研修医も受け入れることになりました。



▲手術の様子

2年間の初期研修を終えた医師は、各々診療科の専門医を目指し、後期研修医として4年～5年の後期研修を受け、各々診療科専門医取得試験の合格を経て専門医になるよう努力します。そして専門医としての経験を積み重ね、一人前の医師として後進の教育を行っていく立場で各々専門診療科のかかわる学会から指導医として認定されます。

医師は通常、このような研修教育を経て切磋琢磨し、チーム医療の中心を担うこととなります。チーム医療とは医師が中心となって、看護師・コメディカルなど多職種の専門スタッフと協力して専門性を発揮し、ひとりひとりの患者さんによりよい治療をめざすように努めていくことです。

・初期研修 (初期臨床研修医)

医師法により、診療に従事しようとする医師は、大学病院または厚生労働大臣の指定する病院で2年間以上の臨床研修を受けることが義務付けられています。

この研修は医師として必要な姿勢・態度、専門分野に限らず日常の一般的な診療に適切に対応できる基本的な診療能力を身につけることを目的としています。

当院には卒後1年目、2年目を含め35名の初期研修医が研修に勤んでいます。

・後期研修 (後期研修医または専攻医)

初期臨床研修を修了した医師を対象とする臨床研修で、専門分野の医療技術・知識を習得する目的で行われます。

当院には卒後3年目～5年目を含め43名の後期研修医が研修に勤んでいます。

・専門医（指導医）

日本専門医機構によると専門医とは、それぞれの診療領域における適切な教育を受けて、十分な知識・経験を持ち、患者から信頼される標準的な医療を提供できる医師とされています。実際は、各々専門診療科のかかわる学会が実施する、専門医取得試験に合格した医師が専門医として認定されます。

当院には各々診療科専門医の認定を受けた医師が104名、指導医は33名います。

2 医療の質の向上と病院機能評価

当院は47診療科を標榜しており、多くの診療科を備えた総合病院で、1,500名を超える職員が勤務しています。

医療の質に関しては、病院の医師、看護師等の医療者数、診療内容・実績、施設設備など種々の面から評価されます。当院では、常に医療の質の向上を目指して、可能な範囲で第三者機関の評価を受けるようにしております。

日本医療機能評価機構から認定されることはもとより、前述したように医師の教育にも力を入れており、卒後臨床研修評価機構からも認定を受けています。卒後臨床研修評価機構 **JCEP** (Japan Council for Evaluation of Postgraduate Clinical Training) は、国民に対する医療の質の改善と向上をめざすため、臨床研修病院における研修プログラムの評価や研修状況の評価を行い、臨床研修病院のプログラムの改善、よい医師の養成に寄与することを目的としています。また、世界各地で認定され医療の質と患者さんの安全、継続的な品質改善に重きを置いている国際医療施設評価機構 **JCI** (Joint Commission International) からの認証も国内で4番目に取得しました。さらに、外国人患者受入れ医療機関認証制度 **JMIP** (Japan Medical Service Accreditation for International Patients) においても国内で初めて認証を受けるなど、当院の理念である、いつでも、どこでも、だれでもが安心・安全で質の高い医療を受けることができるように、充実した医師群を備えた病院を目指し日々努力しております。



▲湘南鎌倉総合病院



▲日本医療機能評価機構
認証書

2002年10月 Ver.3取得 初回認証
2007年11月 Ver.5取得 更新
2012年11月 Ver.6取得 更新



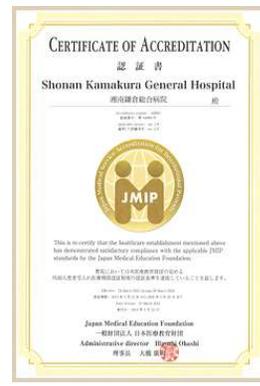
▲卒後臨床研修評価機構
(JCEP) 認証書

2008年12月 初回認証
2012年12月 更新



▲国際医療施設評価機構
(JCI) 認証書

2012年10月 初回認証



▲外国人患者受け入れ
医療機関認証制度
(JMIP) 認証書

2013年3月 初回認証

3 おわりに

今回のようなメールでは当院で勤務する医師と医療の質の評価についてご紹介させていただきました。

当院では初期臨床研修医、後期研修医の教育はもちろんのこと、高度な専門技術を持った専門医（指導医）の育成にも力を入れています。今後も、質の高い医療をひとりひとりの患者さんに提供していくためには、後進の医師の育成が最重要課題であると認識しています。医師の研修等とのかかわりで、患者さんにご迷惑をお掛けすることがあるかと思いますが、何卒ご理解、ご協力の程宜しく願いいたします。



地域総合医療センター

2014年7月より地域連携室改め、
地域総合医療センターが開設されました。

概要

当センターはセンター長の塩野正喜院長を始め、副センター長の小林修三副院長、渡部和巨副院長が中心となった組織編成となっております。

旧地域連携室その他の部署を再編し、退院調整室・医療相談室・訪問診療室・病診連携室・患者相談窓口・がん相談窓口を設置しました。

地域医療を繋ぐために、医師・看護師・社会福祉士・事務職など様々な職種が携わっております。

地域総合医療センターの基本理念

徳洲会組織は、「命だけは平等であり、救急を断らない」という理念のもと、日本の医療・福祉を担う活動を40年以上続けています。

組織の一員である湘南鎌倉総合病院は、25年余の間、健康と生活を守る病院として、鎌倉・逗子・葉山の地域の住民はもとより、近隣地域の信頼を得てきました。

急性期病院として機能する本院は、治療による健康回復を図ることを最重要課題とし、その使命を遂行すべく、日夜活動しています。

地域総合医療センターは、地域・外来・入院問わず、医療・福祉・地域連携において、各専門職が、その技術を駆使し、医療と福祉の支援・援助を行い、外来通院・入退院機能を維持し、地域医療に貢献するために、院内に点在する資源をセンター化し、シームレスな援助を行うための組織です。



地域総合医療センター
のスタッフ

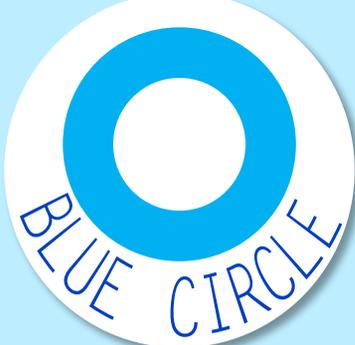
地域総合医療センター長より 挨拶

湘南鎌倉総合病院 塩野院長

当院は「救急患者さんを断らない」を病院の理念に掲げており、救急患者さんを休日も含めて24時間体制で診療しております。また直接病院に来院される患者さん、地域の医療機関や介護施設から紹介で来院される患者さんも含め毎日多くの入院を受け入れ、急性期の医療をおこなっており、11月から45床増床いたしますが、限られたベッドで対応しております。

急性期の治療をほぼ終わられた患者さんの退院に際し、安心して療養を続けられるため、この度、退院調整、医療相談室、訪問医療部、病診連携室などを統合して病院全体で取り組みを強化するため地域総合医療センターを開設いたします。退院に際して、在宅介護サービスの利用、かかりつけ医へのバトンタッチ、転院される近隣病院、療養型病院、リハビリ病院、介護施設とのスムーズな連携などさまざまな手配や、情報交換の迅速化、スムーズな入退院の対応を心がけてまいります。

湘南鎌倉 糖尿病週間 フェスティバル開催!

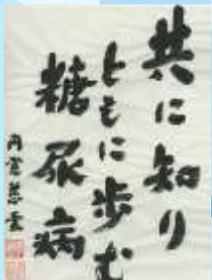


日時 11月16日(日) 10:00~15:00

会場 長谷寺観音堂前

(江ノ電「長谷駅」下車 徒歩5分)

※フェスティバルへの参加は無料ですが、
長谷寺への入山料が必要となります。
(長谷寺の開門時間は8:00~16:30です)



イベント内容

- ・管理栄養士によるお食事相談
- ・医療相談&薬剤相談&運動相談
- ・「濱田屋」の低カロリー弁当販売 ※数に限りがございます
- ・血糖値測定 及び ヘモグロビンA1c測定

など

ぜひご来場ください。お待ちしております。



公開医学講座 クリスマス会開催します!!

赤ちゃん集会 ~ベビー同窓会~

毎年行われる「赤ちゃん集会 クリスマス会」が今年も開催されます!ぜひ、ご家族、ご友人と一緒にご参加ください。どうぞ皆さんでお誘いあわせの上、ご参加ください。

詳しい日程や、開催場所は開催月の「公開医学講座」チラシにてご案内いたします。「公開医学講座」チラシの発行は前月の最終月曜日です。当院のホームページでもご確認いただけます(更新はチラシ発行と同日です)。



日時: 12月23日 火曜日(祭日)

場所: 湘南鎌倉総合病院 6階 産科外来

(対象: 1歳未満)

午前の部 受付時間 9:30 ~ 開始時間 10:00 ~
午後の部 受付時間 13:30 ~ 開始時間 14:00 ~

サンタさんに
会えるかも!



11月より院外処方せん発行へ切り替わります

薬剤部
より

当院では、国が推進する医薬分業の方針に従い、

平成26年11月より「院外処方せん」へ
切り替えることになりました。



国が進める医薬機能分化、質の良い医療サービス提供のため、ご理解とご協力をお願いします。
※お薬の内容によっては保険制度の理由で院内処方となるものもあります。

お近くのかかりつけ薬局(保険調剤薬局)を決めていただき、
普段お飲みのお薬を伝えて頂くことをお勧めします

処方せんには期限が
あります
4日以内に薬局へ
お持ちください

6番お薬窓口前に、
近隣の保険調剤薬局
リストと、FAXコーナーを
設置しています。

